

復興道路《E45 三陸沿岸道路》

宮城・岩手県境が復興道路でつながります！
平成31年3月21日（木）開通

国土交通省が整備を進めてまいりました「^{からくわたかた}唐桑高田道路」の「^{からくわこはらぎ}唐桑小原木IC ~ ^{りくぜんたかたおさべ}陸前高田長部IC間 延長3.5km」が3月21日（木）に開通する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

《トピック》

- ①現道の課題箇所を回避し、信頼性の高い高速道路ネットワークを形成。
- ②岩手・宮城両県を跨ぐ地域産業の振興を支援します。
- ③県境を越えた広域観光の振興を支援します。

1. 開通区間

^{からくわたかた}唐桑高田道路（^{からくわこはらぎ}唐桑小原木IC ~ ^{りくぜんたかたおさべ}陸前高田長部IC） 延長3.5km

2. 開通日

平成31年3月21日 木曜日

※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせいたします

※唐桑高田道路は、自動車専用道路であり、歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行できません

なお、インターチェンジ名称を以下のとおり決定しましたので、併せてお知らせします。

^{からくわこはらぎ}唐桑小原木インターチェンジ ← ^{からくわきた}唐桑北インターチェンジ（仮称）

※インターチェンジ名称については、地元自治体の意見を反映し決定しております。

<記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ、気仙沼記者クラブ、岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ>

【お問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 TEL 022-248-4131

副所長

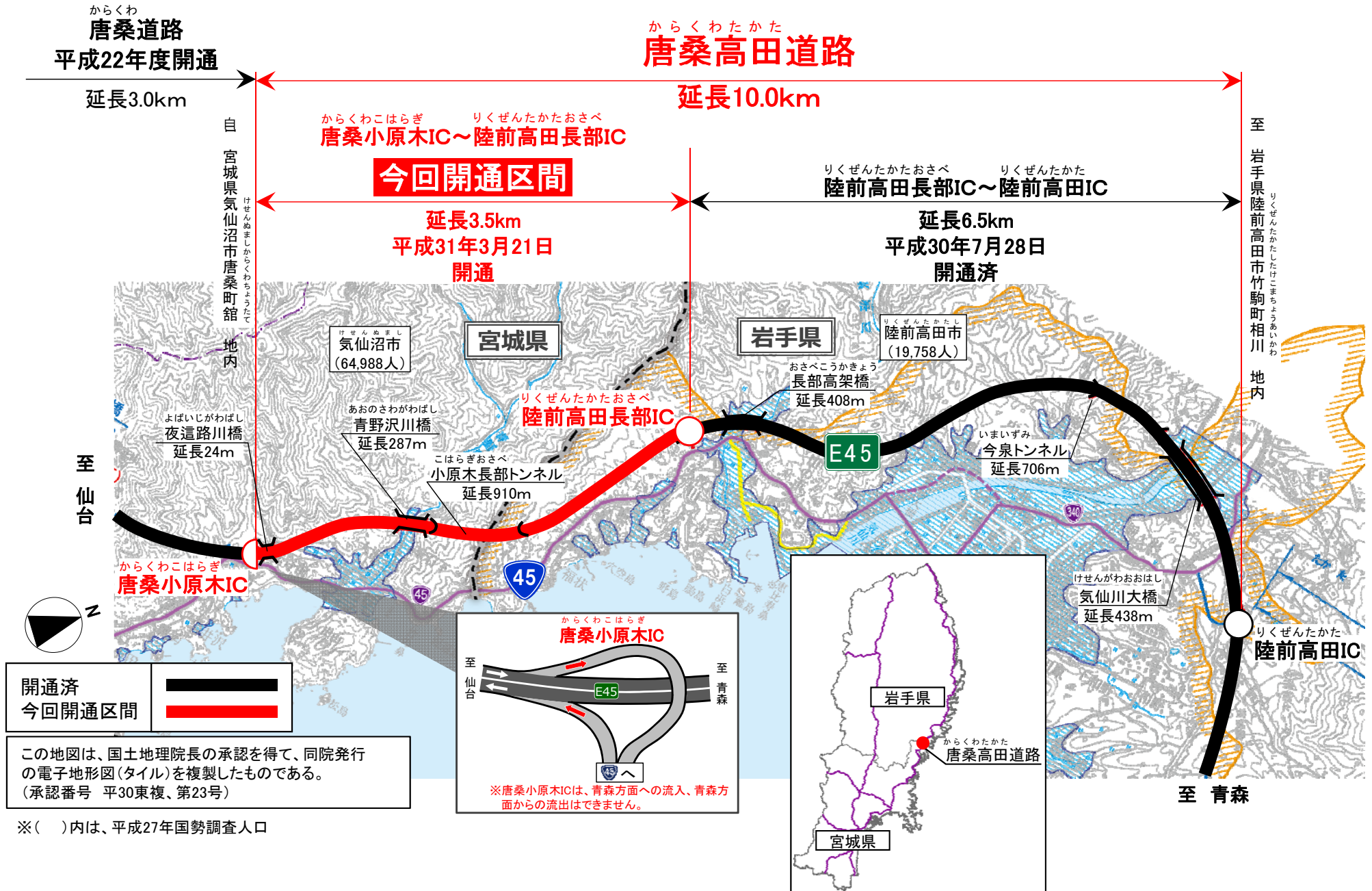
^{えんどう まさし}遠藤 雅司（内線205）

南三陸国道事務所 TEL 0193-28-4731

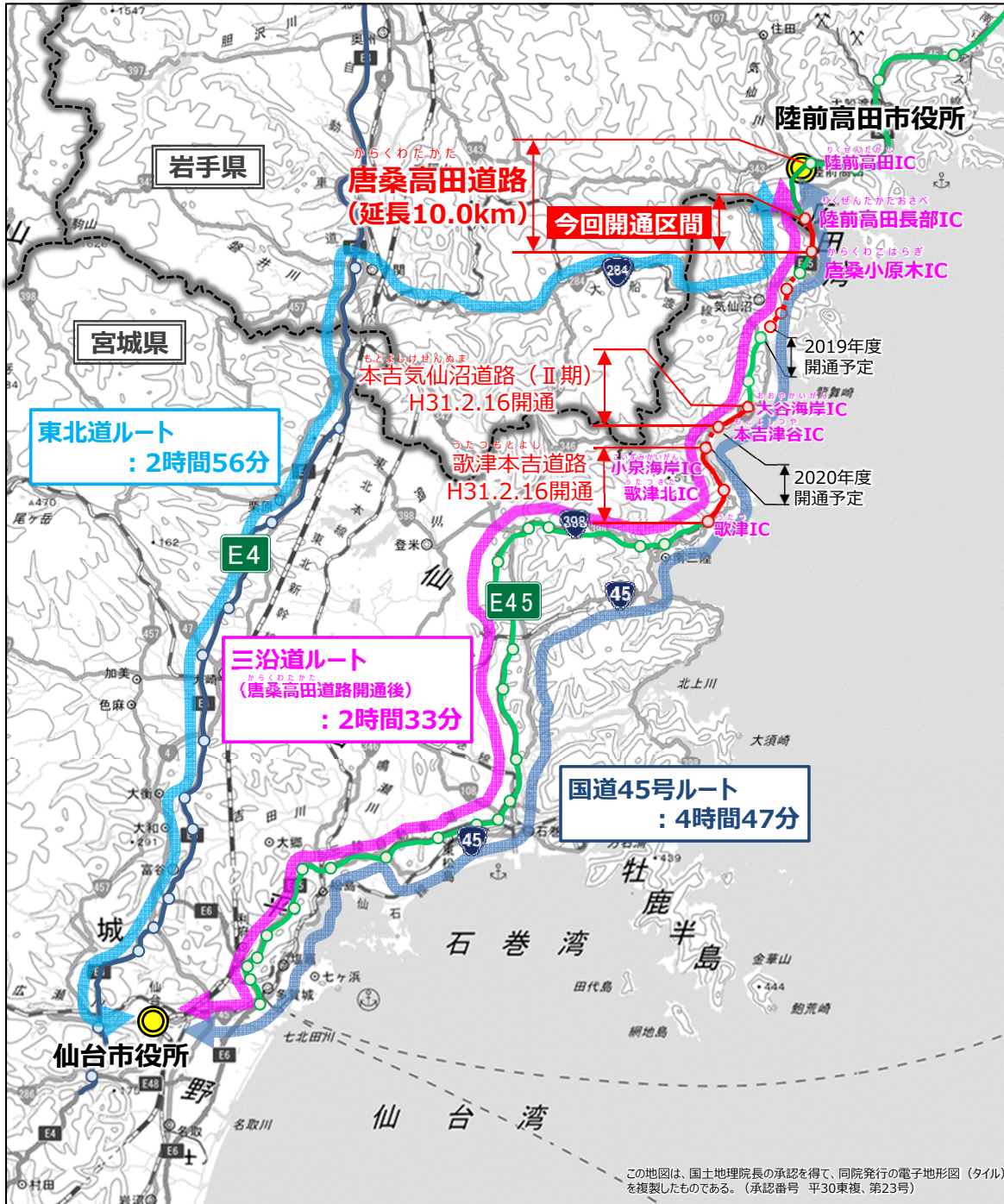
副所長

^{こがわ てつはる}古川 哲治（内線204）

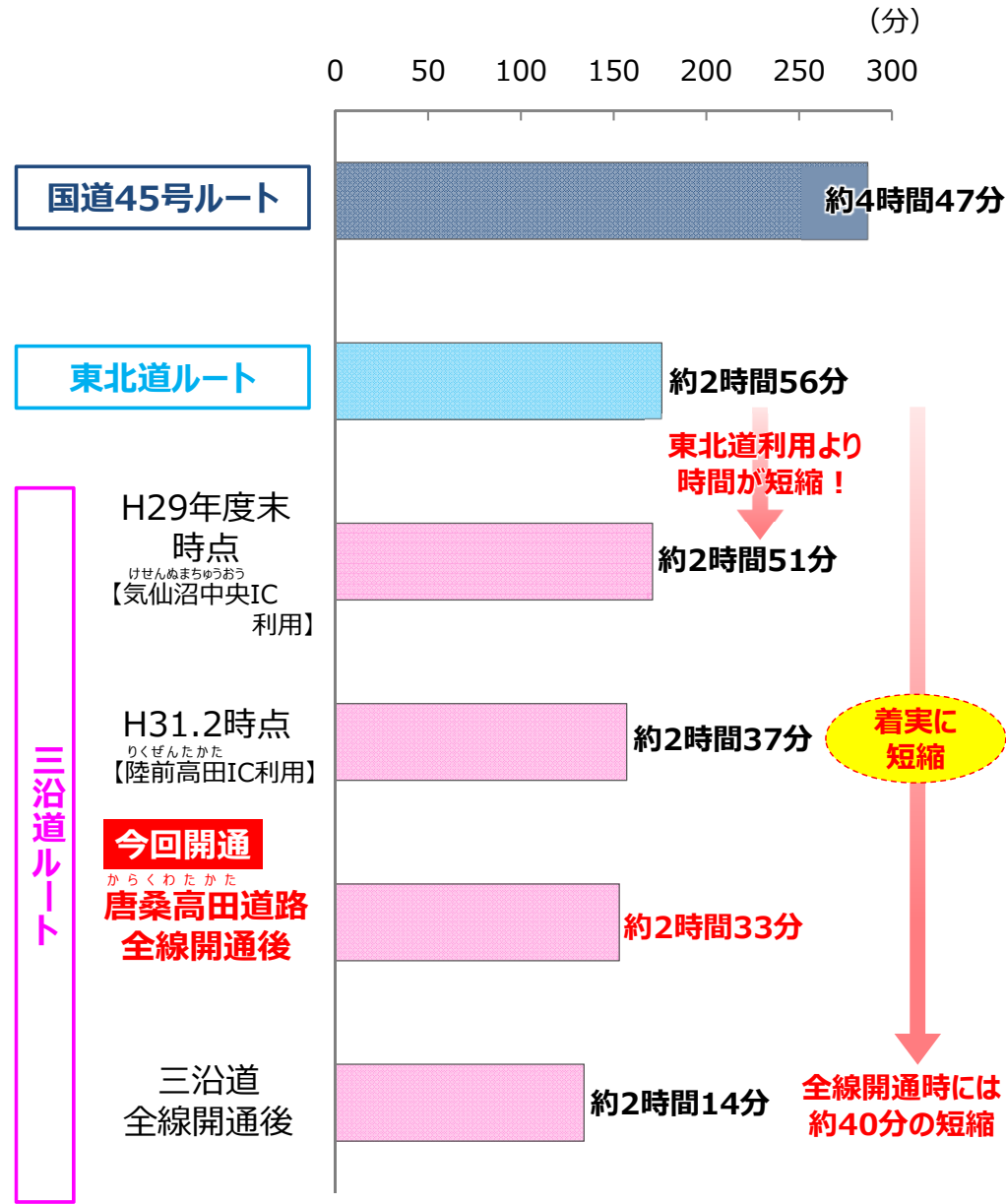
からくわたかた からくわこはらぎ りくぜんたかた おさべ
三陸沿岸道路 唐桑高田道路(唐桑小原木インターチェンジ～陸前高田長部インターチェンジ)
位置図



三陸沿岸道路整備による時間短縮



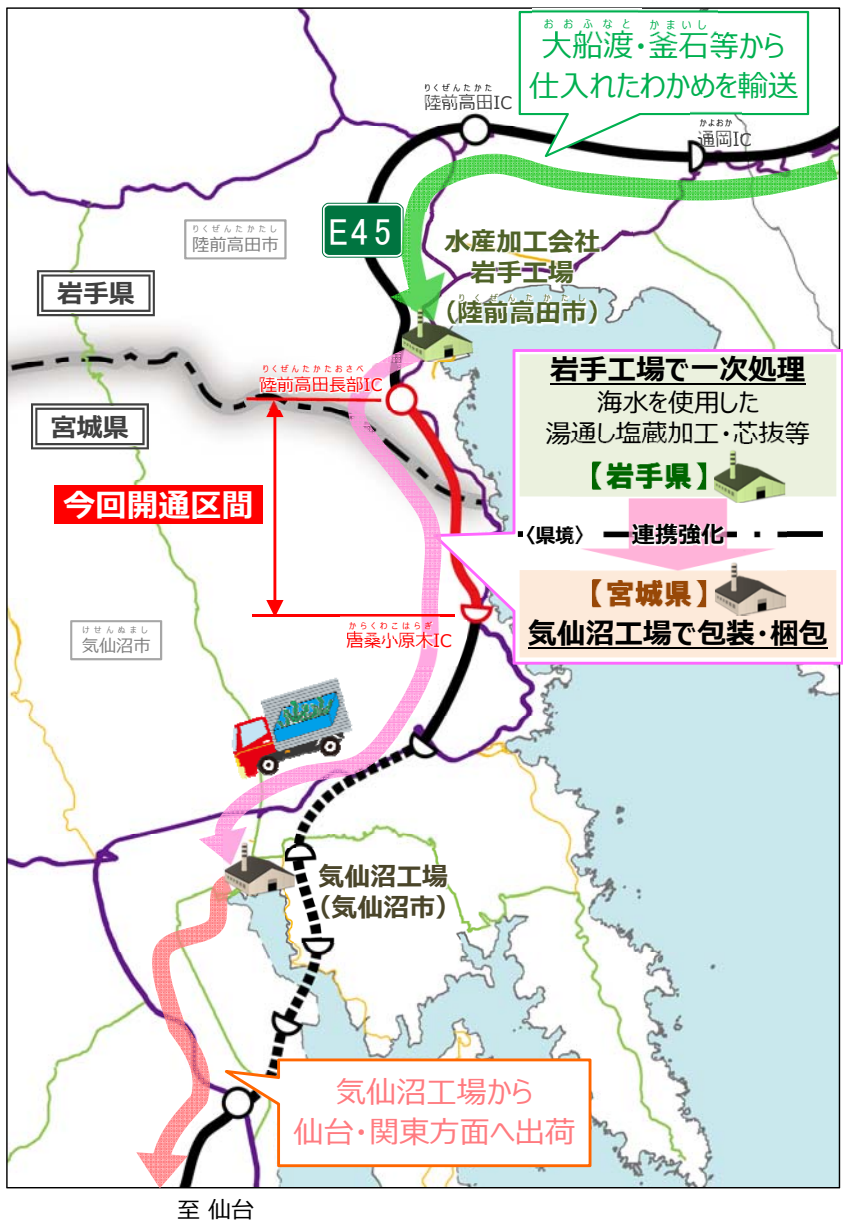
【陸前高田市～仙台市間の所要時間の変化】



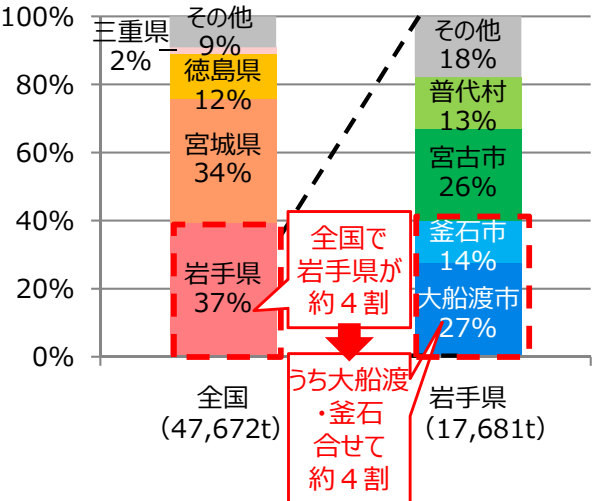
資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）
 ※陸前高田市役所～仙台市役所間の所要時間
 ※H27以降の開通区間は、道路構造に応じた速度で算出

からくわたかた
[唐桑高田道路] 岩手・宮城県境を跨ぐ地域産業の振興を支援 (1)

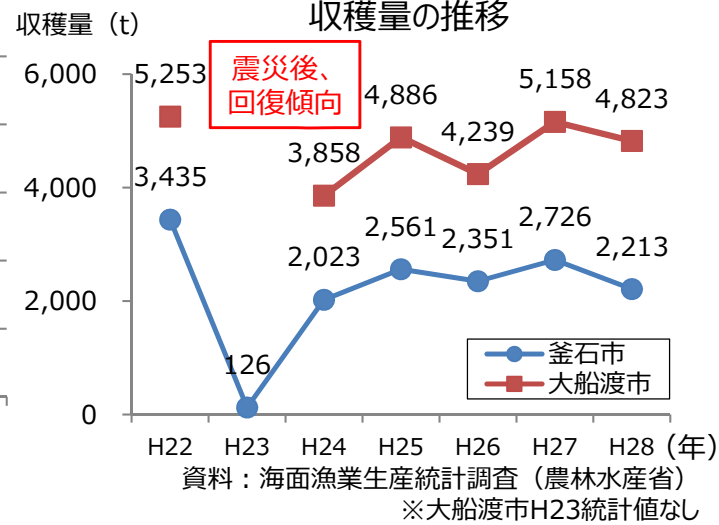
- ◆岩手県はわかめ類収穫量全国1位で、そのうち約4割を大船渡市・釜石市で収穫し、その量は震災後の落ち込みから回復傾向
- ◆収穫されたわかめは岩手工場で一次処理後、気仙沼工場で包装・梱包後、三陸沿岸道路を利用し仙台・関東方面へ出荷
- ◆今回の開通により、岩手・宮城県間の輸送時間が短縮し連携強化されることで、主力産業である水産業・水産加工業の復興を支援



▼わかめ類収穫量 (H28年)



▼大船渡市・釜石市のわかめ類収穫量の推移



▼大船渡産三陸わかめ



出典：大船渡市役所HP

《水産加工業者の声》

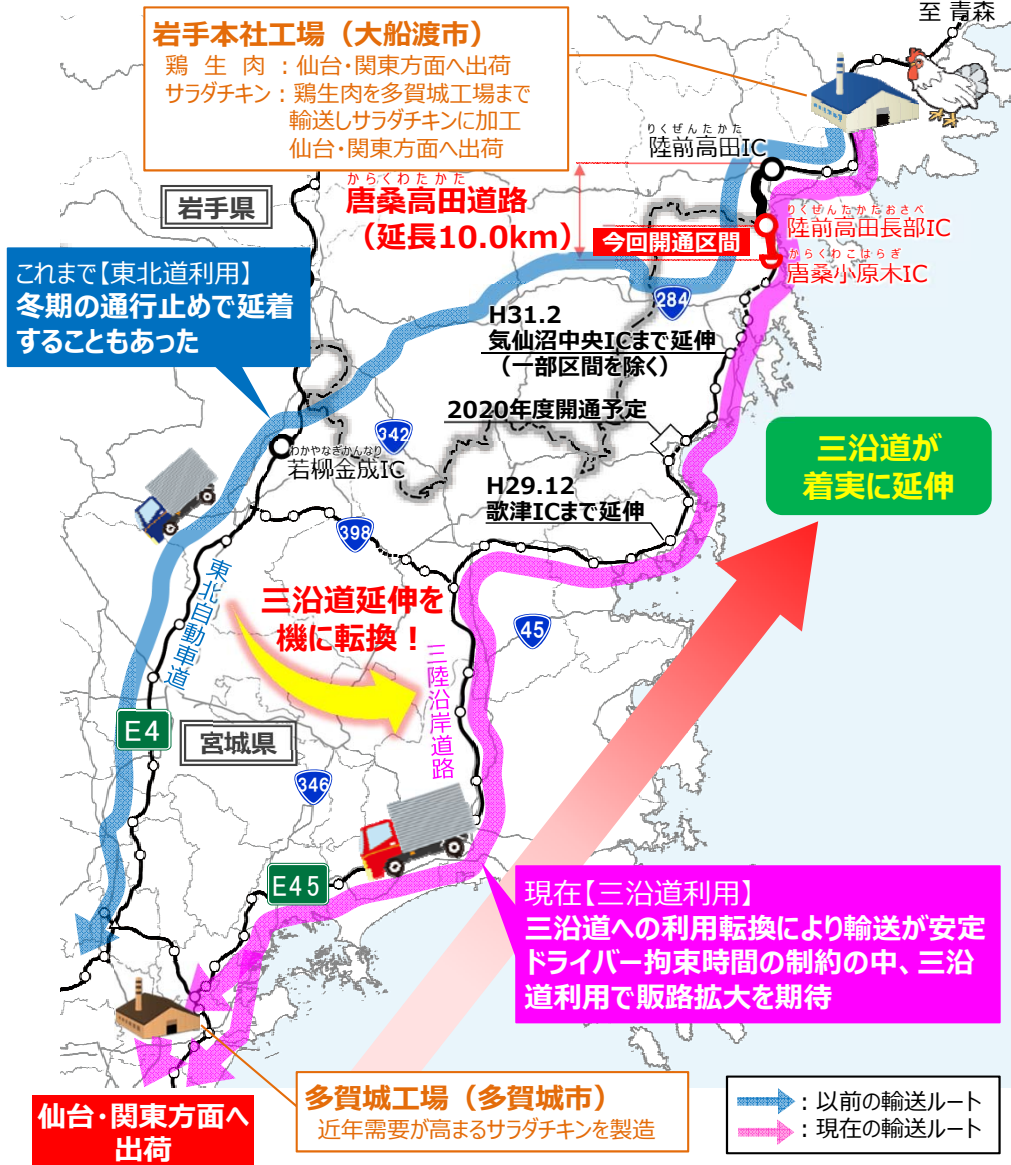
- ・「生わかめ」はシートを引いたトラックの荷台に直接入れ、シートを被せて輸送を行うため、品質を確保するために少しでも早く運搬する必要があります。
- ・1日に最低10回以上、陸前高田の工場から気仙沼工場へ輸送するため、合計するとかなりの時間短縮が期待できます。
- ・三沿道の延伸により商圏が広がっており、今回の開通を含む三沿道延伸に伴う出荷時間短縮により、鮮度向上・取引価格の向上、また仙台空港まで直結することで更なる商圏拡大に期待できます。

(H30.11 水産加工業者ヒアリング結果)

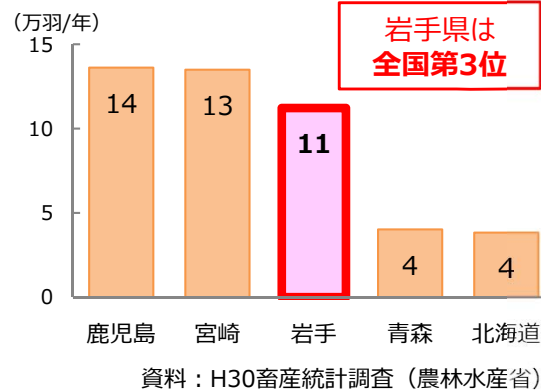
[唐桑高田道路] 岩手・宮城県境を跨ぐ地域産業の振興を支援 (2)

- ◆ 全国3位の出荷量を誇る岩手県産のプロイラーのうち、大船渡市の主要企業は、毎日宮城県内の工場へ鶏生肉を輸送
- ◆ 企業では、三治道が歌津ICまで延伸したのを機に、これまでの東北道利用から三治道を利用した輸送経路に転換
- ◆ 今回の開通により、更なる輸送効率化が図られ、信頼性向上や販路の拡大にも期待

▼大船渡市から仙台・関東方面への輸送ルート



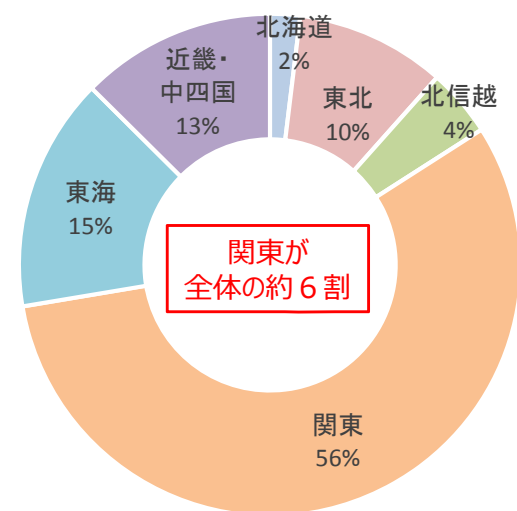
▼都道府県別プロイラー出荷数



《鶏肉加工会社の声》

- ・鶏生肉は大船渡から、サラダチキンは大船渡から運んだ鶏生肉を多賀城工場（宮城県）で加工して、仙台・関東方面へ出荷しています。
- ・運転手の拘束時間の制限から、当日・1日以内での出荷は首都圏までとなり、販路拡大することが難しい状況でした。
- ・また、冬期は雪による東北道の通行止等で延着（予定時刻に遅れて到着）することもありました。
- ・今回の開通を含む三陸沿岸道路の開通で、**運送時間の短縮による名古屋・関西圏への更なる販路拡大**、三治道経由への転換により**冬期の安心感が増すことに期待**しています。

▼加工鶏生肉出荷先割合



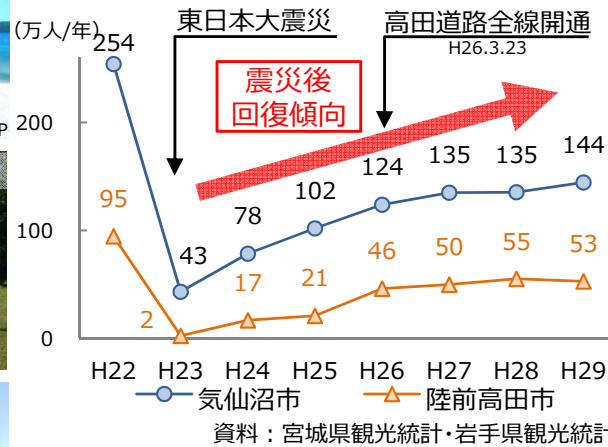
からくわたかた [唐桑高田道路] 県境を越えた広域観光の振興を支援

- ◆観光資源が豊富な当該地域は、震災後に観光入込客数が落ち込んだものの、徐々に回復傾向
- ◆三沿道全線開通を見据え、地元では平成28年より宮城・岩手両県の自治体が中心となり、観光振興策の研究会を設立
- ◆復興・復興支援道路の整備により、県境を越えた広域周遊ルートの形成、県境の交流活性化による広域観光の振興を支援

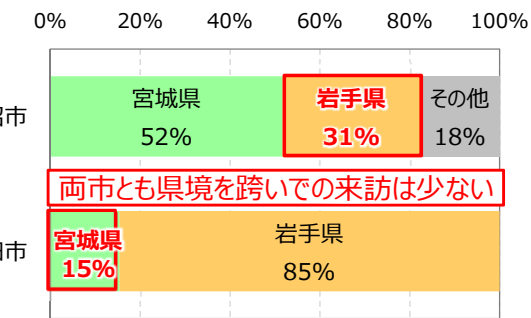
▼三陸沿岸の主要観光地



▼気仙沼市・陸前高田市の観光客数の推移



▼休日の気仙沼市・陸前高田市 来訪者の居住地割合



資料：「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.
 ※気仙沼市は旧気仙沼市滞在者(H29.7・8休日)を、陸前高田市はアバッセがた滞在者(H29.8休日)を集計対象とした。ただし不詳値(秘匿値)は除外。

「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測定されるGPSデータ（精度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

気仙・気仙沼地域の県際観光推進研究会（以下「研究会」）

- ・三沿道全線開通を見据え、平成28年に岩手県大船渡地域振興センター、宮城県気仙沼地方振興事務所が中心となって、地域の観光振興策の調査・研究を目的に研究会を設立
- ・2020年を目標に、食・体験観光・震災学習等をテーマとした連携事業を検討中

《研究会の声》

- ・三沿道開通により気仙・気仙沼地域への観光誘客促進、特に仙台圏からの誘客に期待しています。
 - ・三沿道開通とこの研究会で、県境を越えた観光連携・交流が根付けばと思っています。
- 【H30.12 研究会事務局（岩手県沿岸広域振興局）ヒアリング結果】

《ツアー企画会社の声》

- ・2019年春に三陸鉄道リアス線（岩手県）開業、気仙沼大島大橋（気仙沼市）開通が控えており、これらを活用したツアーを企画予定であるなど、今回の開通も含め三沿道の開通が進むことでツアー企画の幅が広がることに期待しています。
 - ・三沿道の延伸による移動時間短縮で、バスのチャーター料金が安くなることでツアー料金を下げることができ、参加者増加・観光活性化につながることに期待しています。
- （H30.12 ツアー企画会社ヒアリング結果）

